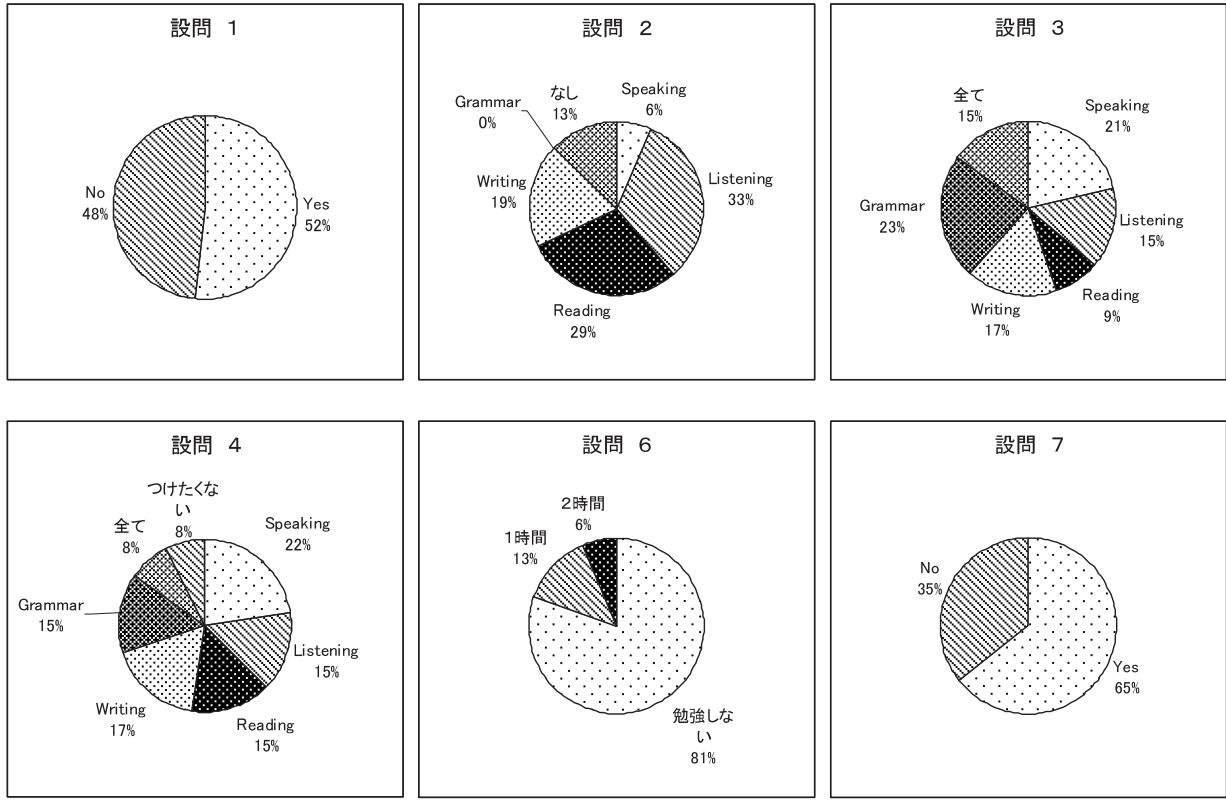




生徒は少ないことがわかる。これは、「何から取りかかればよいのか」がわからないことが一因となっている。以上のことから、とりあえず、音読を通して「英語を正しく読める」という達成感を生徒に与えれば、英語が好きな生徒が増えるのではないかと考えた。

(アンケート集計結果)



3 指導過程 (1)

生徒に音読を促すために、まず授業展開上の課題を考察してみた。その結果以下のような課題が出てきた。

1. Chorus Reading 時にどこを読んでいるのかわからなくなってしまう生徒がいる。
2. 単語と発音がなかなか結びつかない生徒がいる。
3. 教科書を音読するとき、顔がうつむいてしまい、声が小さくなってしまふ。
4. 板書に時間がかかってしまい、生徒が発話する機会が少なくなってしまう。
5. 授業が Grammar 中心の授業となっており、生徒の音読や Listening にあてる時間が少なくなっている。

これらの課題を改善するために、次のア)、イ)を行った。

ア) 顔を上げて音読するために、パワーポイントを利用した授業の展開

イ) 授業中に使用するワークシートの改善

(1) 授業展開

教科書 : ACORN English Course I Reading 1 The Zoo  
 指導目標 : 生徒が授業を通して音読の回数を増やすことで、教科書の本文を理解しながら音読できるようにさせる。

音読の回数を増やすという目標を達成するために、英文量が少なく、比較的既習の文法事項が多い Reading 1 The Zoo を選んで授業を行った。

①新出単語

資料1のように新出語句をスクリーンに大きく映し出し、全体で、または一人ずつ繰り返して発音させた。

②本文

教科書の本文を一文ずつスクリーンに映し出し、全体で、または、一人ずつ繰り返し音読させた(資料2)。音読は日本語の意味を確認しながら行った。

③内容理解

本文の内容理解はワークシートを中心に行った。

ア Find the Sentence

与えられた日本語に合う英文を本文中から探し出し、抜き出させた。このことで教科書の熟読を図った(資料3)。

イ Comprehension

本文を読んでわかったことを絵に表現することで、スムーズに内容理解に取り組めるようにした(資料4)。

ウ Question & Answer

英語の質問に対する答えを本文中から探し出させることで、繰り返し教科書を読ませた(資料5)。

資料1

Here we go

さあ、始めましょう

資料2

トムは大変怠け者の若者でした。

Tom was a very lazy young man.

朝早く起きるのが嫌いでした。

He hated to get up early.

きつい仕事が嫌いでした。

He didn't like a hard work.

資料3

((Find the sentence)) 下の日本語に合う英文をP49から探し抜き出しましょう。

① トムは叔父さんから電話をもらいました。

Tom had a phone call from his uncle.

② あなたにぴったりの仕事を探したよ。

I found a perfect job for you.

③ それは完璧だ!

That sounds perfect!

④なんて簡単な仕事なんだろう!

What an easy job!

⑤ 明日からそこで働き始めるよ。

I'll start working there tomorrow!



資料4

((Comprehension)) トムが動物園で働くことになるまでを、絵と空欄を埋めてまとめましょう。



A few days ago, a (tiger) at a zoo in his town died.

It was very (popular) with the children.

The zoo (had) a new tiger. 新しい



Tom only has to (wear) a tiger skin. トムの皮をかぶる

Tom only has to (walk) around.

Tom only has to (eat) meat and (sleep) in the cage.

(2) 音読の回数を増やすこと

本事例の学校では、各学年ともに週2時間しか英語の授業が行われない。そのため生徒が英語に触れる機会も少なく、また前時間の授業内容も忘れてしまいがちである。そこで各生徒の授業時間外のレッスンスケジュールを作成し、資料6の Reading Marathon Sheet を配付して生徒の音読を増やすこととスキルアップを図った。

資料5

((Answer the questions)) 下の質問の答えをP48から探し出しましょう。

① What did he dislike?

He didn't like (hard) (work).

② Why did he have to find a job?

For a (living).

③ What does he want to eat for his lunch?

He wants to eat (meat) for lunch.

④ How much does he want a day?

He wants (\$100) a day.

((Comprehension)) トムはどんな仕事がしたいですか、空欄を埋めましょう。

start at (ten) and finish at (four).

(Coffee) and (cakes) are served at three.

can eat (meat) for lunch every day.

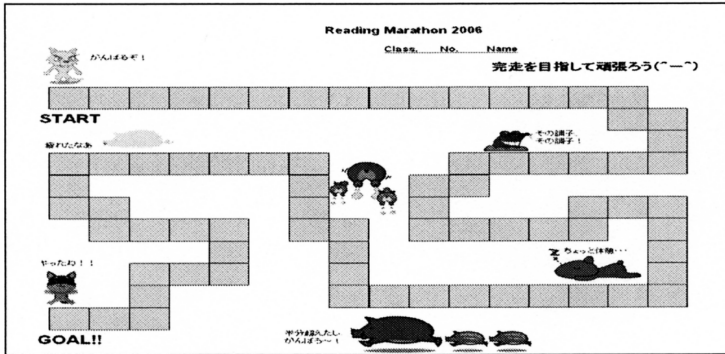
The work is only (not) (around)

(take) (a) (nap)

(doing) (anything) he likes.

can earn (\$100) a day.

\*earn...稼ぐ



資料6

生徒は授業外レッスンの際にこのシートを持参し、音読を一度する毎にマス目に日付を記入した。

(3) 2学期中間考査の改善

中間テストでは音読の成果が評価に反映されるように工夫した。

(出題例1)

次の単語の組み合わせで、下線部の発音が同じならば○、異なるならば×を書きましょう。

- ① work      ② every      ③ tiger      ④ around      ⑤ day  
     serve      ananything      skin      almost      cage

(出題例2)

日本語に合うように( )に入る適切な語を下の選択肢の中から選び、記号で答えましょう。

- それは子どもたちに人気がありました。 It was ( ① ) ( ② ) the children.
- きみはトラの皮をかぶりさえすればいいんだ。 You ( ③ ) have ( ④ ) wear a tiger skin.
- 大きなライオンはトラの方へとゆっくり歩いてきました。 The big lion ( ⑤ ) walked ( ⑥ ) the tiger.
- ぼくも1日100ドルで雇われたんだ。 I was ( ⑦ ) ( ⑧ ) \$100 a day, too.
- ライオンとトラの対決です。 It's a big fight ( ⑨ ) a lion ( ⑩ ) a tiger.

- 選択肢    ア) of    イ) to    ウ) for    エ) at    オ) with    カ) and    キ) or  
 ク) fast    ケ) slowly    コ) only    サ) toward    シ) roared    ス) hired    セ) popular    ソ) between

教科書の本文にある文をそのまま抜き出し、穴埋め形式で出題した。

(出題例3)

教科書 p 4 8 The Zoo の内容に合うように、( )に入る適切な語を選択肢の中から選び、記号で答えましょう。

Tom was a very ( ① ) young man. He hated to ( ② ) up early. He didn't like ( ③ ) work. He wasn't ( ④ ) at talking with people. But he had to find a job for a ( ⑤ ).

( ⑥ ) day, Tom ( ⑦ ) his uncle to find a job for him.

"What ( ⑧ ) of job do you want?" asked the uncle.

"Well," Tom ( ⑨ ). "I ( ⑩ ) to start at ten and ( ⑪ ) at four. Coffee and cakes are served at three. I want ( ⑫ ) for lunch every day. The work is only ( ⑬ ) around, ( ⑭ ) a nap, and doing anything I like. And I want \$100 a day."

"Oh, boy!" The uncle ( ⑮ ).

- 選択肢    ア) answered    イ) worked    ウ) took    エ) asked    オ) sighed  
             カ) finish      キ) want      ク) have    ケ) get      コ) finishing  
             サ) walking    シ) living    ス) working    セ) talking    ソ) taking  
             タ) meat      チ) hard      ツ) heard    テ) late      ト) lazy  
             ナ) one        ニ) once      ヌ) good    ネ) kind      ノ) fine

(出題例 4)

日本語に合うように ( ) 内の語を並べかえましょう。

- ① 彼は自分の檻の隣に別の檻があるのに気づきました。 (his, cage, He, to, another, noticed, next).
- ② このトラの役を演じられるよ。 (the part, this, can, tiger, You, of, play)
- ③ 私は彼女の部屋からうるさい音楽がなるのをききました。  
(from, a very, heard, her, noisy, I, room, music).
- ④ あなたにぴったりの靴を見つけたよ。 (found, you, shoes, a perfect, for, I).
- ⑤ 彼の故郷にある学校の大きな木が切られました。 (in, at, school, hometown, was cut, A big, his, tree).

( )内の語を並べかえて、教科書の本文中にある文と類似した文を作成するという形式で出題した。

#### 4 指導過程 (1) におけるまとめと考察

##### (1) 授業展開上における考察

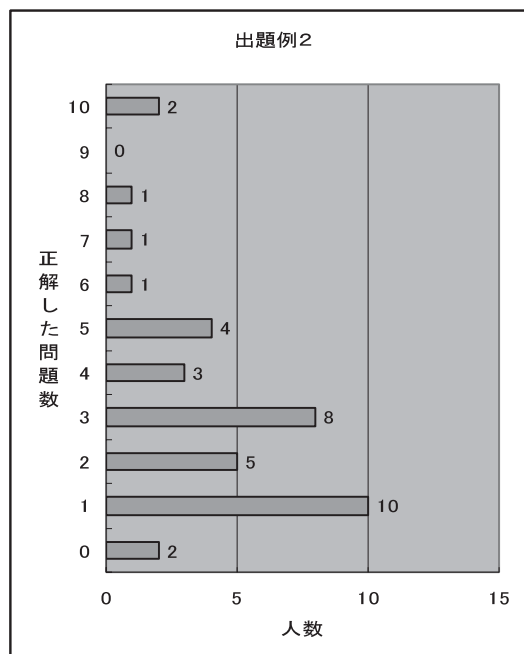
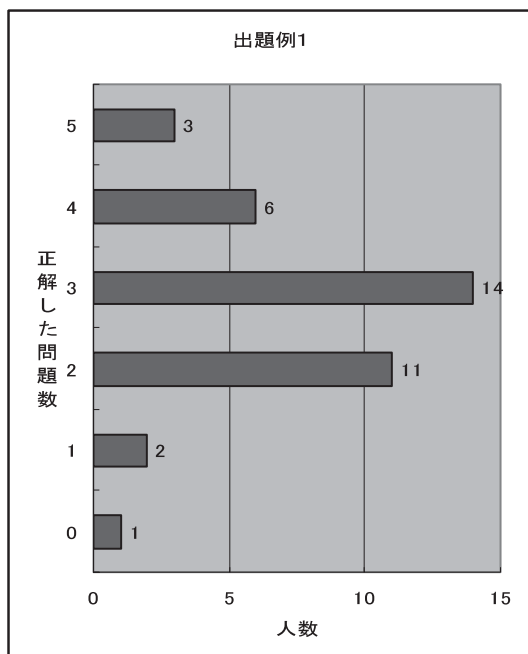
まず、新出単語や教科書の本文をスクリーンに映し出すことで、生徒の顔が上がり、音読の声が大きくなった。また、生徒全員がスクリーンを見ながら授業に参加できるようになり、授業の雰囲気よくなった。さらに、板書に時間がかからなくなったことで授業内の多くの時間を音読に充てられるようになった。中間テスト後に行ったアンケートで、改善後の授業の感想を聞いたところ、「パワーポイントのおかげで授業がわかりやすくなった」、「スクリーンを見ながらの音読はやりやすい」等の肯定的な意見がほとんどであった。授業内においては生徒の音読量を増加させることができた。

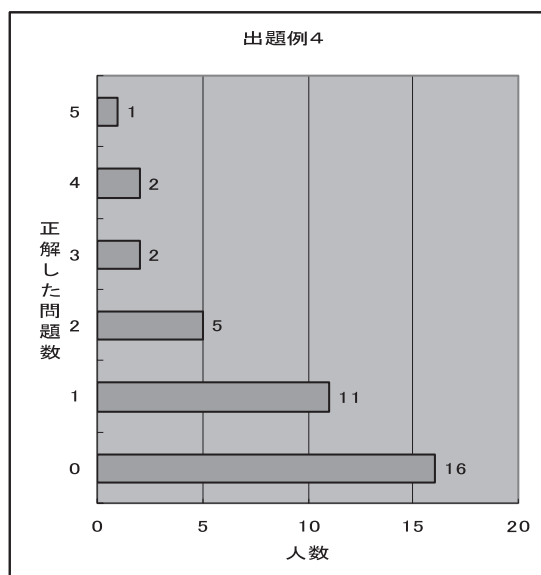
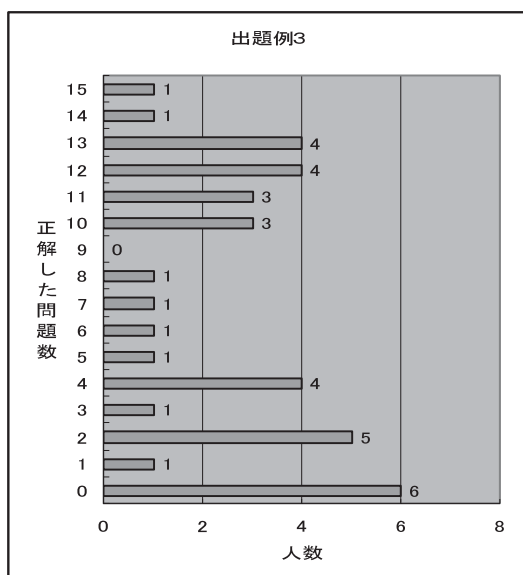
##### (2) 音読の回数を増やすことにおける考察

授業時間外に音読を促すことにおいては、限られた生徒しか練習に来なかった。1学期末テストが不振だった生徒へ音読を課し、英語が苦手な生徒に、英語を読む自信をつけさせようと試みたが、課題を済ませてしまうと、授業時間外の音読を続けることができなくなった。生徒に音読を促すために授業時間外レッスンを計画したのだが、次の2点が課題として残った。(1)達成目標が抽象的であるために、あまり意欲的にレッスンを受ける生徒がいなかった。(2)授業時間外のレッスンのために、音読を苦手としている生徒が積極的に参加するのは難しい。

##### (3) 2学期中間考査における考察

2学期の中間テストにおいて、以下のような結果が出た。(出題例は p. p. 5-6 参照)





出題ごとに結果を見ていくと、出題例2では、教科書の本文をそのまま抜き出して出題したが、76%の生徒が、半分未満の正解数であった。また出題例4では、本文に類似した文を正しい順に並べかえる問題だったが、正解数が0または1題という生徒が全体の73%に達した。一方、出題例3では、教科書の本文を穴埋め形式で出題したが、正解数が8問以上という生徒が43%、正解数が4問以下という生徒が46%となり、正解数が高い生徒と低い生徒にほぼ二極化してしまった。この結果から、まず出題形式が生徒の実情にあっていなかったのではないかと推測できる。今回のテストでは、出題形式が今までとは大きく異なってしまったため、十分な準備ができなかった様子である。また、今回のテスト勉強として教科書の音読に力を入れ、暗唱にも挑戦してくるように指示していた。しかしテストでは、本文の形を残して出題されたのが出題例3だけであったため、暗唱をしてきた生徒でも自分が学習してきた内容とテスト問題とが結びつかなかったようである。

また、生徒にまだまだ音読が定着していないのではないかと推測ができる。この推測を検証するため、テスト後のアンケートで、中間テストの準備としてどのくらい音読を行ったかを調査したところ、生徒の35%が全く読んでいない、46%が本文を10回未満しか読んでいないと回答した。音読にあまり取り組めない理由としては、「発音がわからない」というのがほとんどで、授業だけで音読を定着させることは難しいとわかった。

さらに約1ヶ月にわたり毎朝音読を続けてきた生徒Aの結果を見てみると以下のようなになった。

	正解数	正解率
出題例1	3	60%
出題例2	10	100%
出題例3	12	80%
出題例4	1	20%

この生徒の結果を見ると、出題例4の正解率が他と比べて低く、これまでの音読では文章を応用するところまで力がついていないことがわかった。以上のことから、英語による自己表現力につながる音読指導への課題として、(1)生徒の音読量を増加させるための工夫・改善、(2)英文を暗唱するための音読指導の工夫・改善が挙げられるだろう。

## 5 音読指導の工夫と改善 — 指導過程(2) —

これまでの経過を踏まえて、音読を積極的に行ったことによる達成感が具体的に得られるよう11月に音読テストをする計画を立てた。

### (1) 指導計画

①単元の目標

- 1 病気の症状を訴える表現を英語で理解し伝える。
- 2 日本とアジアの国々における風邪をひいたときの民間療法の違いについて、音読を通して理解を深める。
- 3 各英文の意味を理解しながら正確に音読する。
- 4 本単元で使われた英文を応用し、英語で自己表現をする。

②評価規準

- 1 病気の症状を英語で理解し伝えることができる。・・・目標 1
- 2 民間療法における日本とアジアの国々での違いに関する質問を英語で理解し、教科書の英文を用いて答えることができる。・・・目標 2
- 3 教科書の本文を正確に音読することができる。・・・目標 3
- 4 日本語を聞き、それを教科書の英文を用いて英語に直すことができる。・・・目標 3
- 5 教科書で学習した英文を応用して、文法的に類似した英文を作ることができる。・・・目標 4

③単元の指導計画

時間	学習内容	評価規準	評価方法
1 2	医者と患者の会話文から、病気の症状を表す英語表現を習得する。	1	観察 ワークシート
3 4	日本の民間療法に関する内容を読み、理解する。 音読を繰り返し、理解を深める。	2, 3 4, 5	観察 ワークシート
5	民間療法に関する文を正確に読めるようにする。	3, 4	ワークシート
6	音読テストを行う。	3, 5	発表、評価
7	スピーチコンテストを行う。	3	相互評価

1. 聞こえてきた単語を書き取りましょう。

In Japan, Tamagozake. People sometimes, folk medicine, we drink, cure, quick.

2. 上の単語を使って文章を作りましょう。

① (People) (sometimes) (try) (folk) (medicine).  
人々には民間療法を試す。

② (In) (Japan), 日本では  
③ (we) (often) (drink) (for instance, (Tamagozake),  
例えば私たちはよくたまご酒を飲みます。

④ (it) (is) (a) (quick) (cure) (for) (a) (cold).  
風邪のすばい治療法として

3. 上の文章を隣の人に読んで聞かせましょう。

評価：A・・・正しく流暢にリズムよく読めた。  
B・・・正しく読めた。  
C・・・もう少し練習が必要です・・・

あなたの評価は・・・

It is a mixture of hot sake and egg yolk. A

それはあたしが、お酒とたまごの黄身を手合わせたものです。

(2) 指導内容

①本文の内容理解

生徒がCDで本文を聴きながら英文を完成させられるように、左に示したようなワークシートを使って、本文を繰り返し聞くことで英文に慣れさせるようにした。またワークシートの最後に、ペアによる音読活動を入れ、互いに評価ができるようにした。最初は英文が聞き取れなかったり、また聞き取れても綴りに表すことができなかつたりして学習意欲が低い生徒もいたが、慣れてくると生徒は集中してリスニングを行うことができた。その結果、聞き慣れた文章の音読にスムーズに取り組むことができるようになった。

## ②音読指導の工夫

### ア Chorus Reading

全員が一斉に読むので、音読に自信がない生徒も自分なりに声を出して読むことができた。また、周囲の生徒の発音を聞きながら自分の発音を訂正していくことができていた。しかし、音読をしない生徒が見つげにくいことがあった。

### イ Stand-up Buzz Reading

全員が一斉に立ち、教師に指定された箇所を読み終えた順に着席していく。早く着席したい生徒は必至になって音読を行っていた。また、誰が早く読めるか生徒間での競争も自然に行われ、楽しそうであった。しかし音読のペースが遅い生徒にとっては、最後まで残ってしまうことにプレッシャーを感じてしまい、しっかりと読めずに周囲に合わせて着席してしまうこともあった。

### ウ Information Gap Sheet の活用

ペアを組み、互いに自分のワークシートに書いてある英文を読んで聴かせ、相手のワークシートとの違いを探しながら音読した。互いの違いがわずかしかなかったため、生徒は集中して相手の音読を聴き、また音読する生徒も相手にわかりやすいように工夫しながら音読していた。しかし、互いのワークシートを見せ合わないよう注意することが必要である。

### エ Reading Marathon Sheet の活用

引き続きこのワークシートを活用して音読を促した。今回は中間テストが不振だった生徒への対策として、期末テストまで週1回の音読を課した。その結果、英語が苦手な生徒に対する個別の音読指導ができ、そのことが授業での音読を活性化させた。

## (3) 音読テストの方法

授業時間内にテストを組み込むことができなかつたので、2学期末の定期考査のうちの20%を音読テストで行った。教科書を見ながら本文を音読するか、または暗唱するかを自由に選ばせた。

(生徒が読んだ本文と音読テストの評価シート)

**Folk Medicine: How to Cure a Cold**  
What do you usually do when you have a cold? See a doctor? Take some medicine?  
People sometimes try folk medicine. In Japan, we often drink, for instance, tamagozake as a quick cure for a cold. It is a mixture of hot sake and egg yolk. Shogayu is also popular. Ginger is good for warming the body.

音読テスト評価表					
Class.	No.	Name			
評価項目	評価				
1. 声の大きさ	5	4	3	2	1
2. 発音 (読み方やアクセントは正しくできているか)	5	4	3	2	1
3. リズム (意味の区切れやイントネーションに注意して読んでいるか)	5	4	3	2	1
4. 流暢さ (なめらかに読めているか)	5	4	3	2	1
5. コメント					



#### (4) 2学期期末考査（ペーパーテスト）の改善

2学期中間テストでの反省を生かして、本文を使って出題し、音読が成績に反映できるようにした。

#### (2学期末テスト出題例)

下の文章を読み、後の質問に答えましょう。

教科書 P56 本文

#### A) Folk Medicine : How to (1) a cold

What do you usually do when you (2) a cold? (3) a doctor? (4) some medicine?

People B) sometimes (5) folk medicine. In Japan, we C) often drink, for (6), *tamagozake* as a (7) cure for a cold. It is a (8) of hot sake and D) egg yolk. *Shogayu* is also popular. Ginger is (9) for (10) the E) body.

(1) ( ) に入る適切な語を下の選択肢の中から選んで、記号で答えましょう。

選択肢 ア) instance イ) mixture ウ) mix エ) try オ) have カ) drink キ) cure  
ク) take ケ) go コ) see サ) quick シ) warming ス) cooling セ) god ソ) good

(2) 下線部 A~E の単語の意味を書きましょう。

(3) 本文を参考に、下の日本語にあてはまる英文を書きましょう。

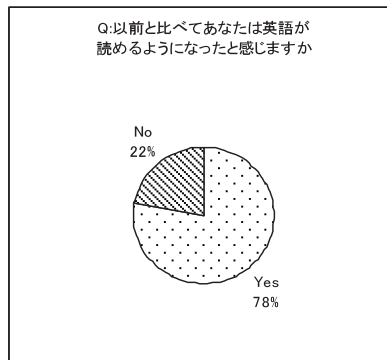
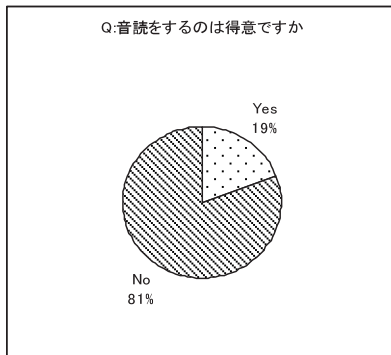
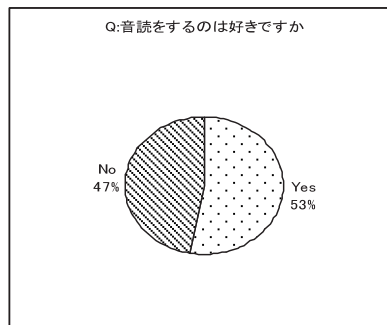
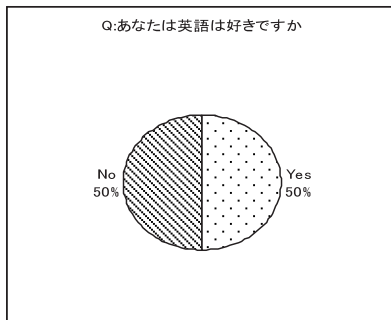
- ① 風邪をひいたとき、あなたは普通何をしますか。
- ② しょうがは、身体を温める効果があります。
- ③ 風邪の治し方

(4) (3) を参考に、( )内の語を使って、下の日本語を英文になおしましょう。

- ① 寒いとき、あなたは普通何を着ますか。 (wear, feel)
- ② ジャガイモには身体を冷やす効果があります。 (potato, cool)

## 6 まとめと考察

音読テストの後に、簡単なアンケートを実施したところ、以下のような結果が得られた。

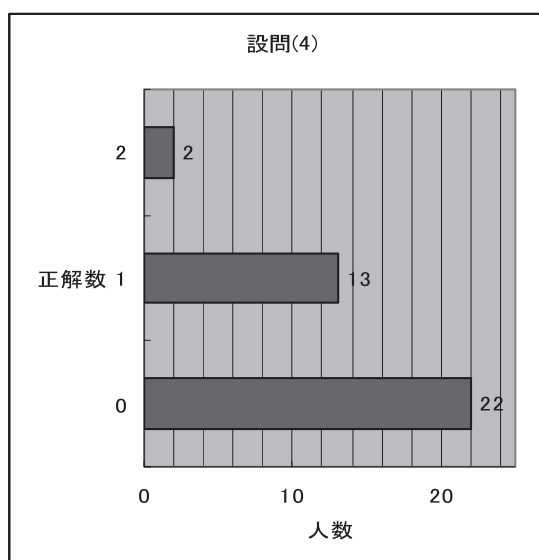
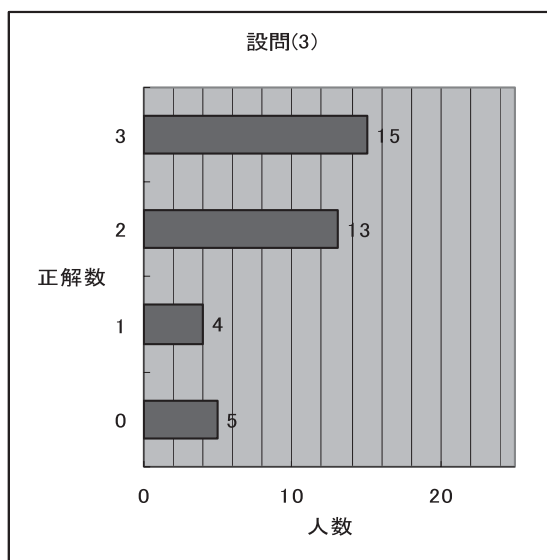
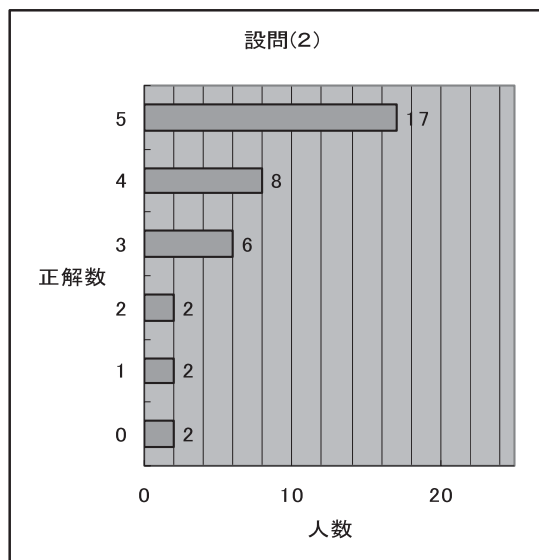
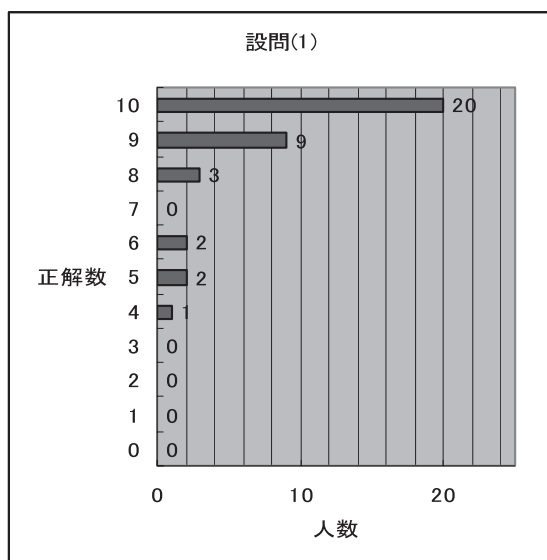


この結果をみると、英語を好きだと感じる生徒たちの割合はほぼ変わりがなかった。また、音読することは楽しいと感じてくれているものの、まだまだ苦手意識を持っている生徒が多いことがわかる。しかし、生徒たちは確実に自分の英語が上達していると感じている。これまでの音読を中心とした授業や音読テストの感想を聞いたところ、

- ・授業の内容がわかりやすくなった。
- ・楽しく音読することができた。
- ・教科書の本文が覚えやすくなり、定期テストに生かすことができた。
- ・音読テストをやったことで、発音やアクセントに気をつけて英語を読むようになった。

などの肯定的な意見が多くあった。音読テストを行ってみて、生徒は正しく英語を発音できるように心がけて読んでおり、以前と比べて上手に英文が読めるようになったと感じている。

次に2学期末定期テストの結果は以下のとおりである。(設問(1)~(4)は前ページ参照)

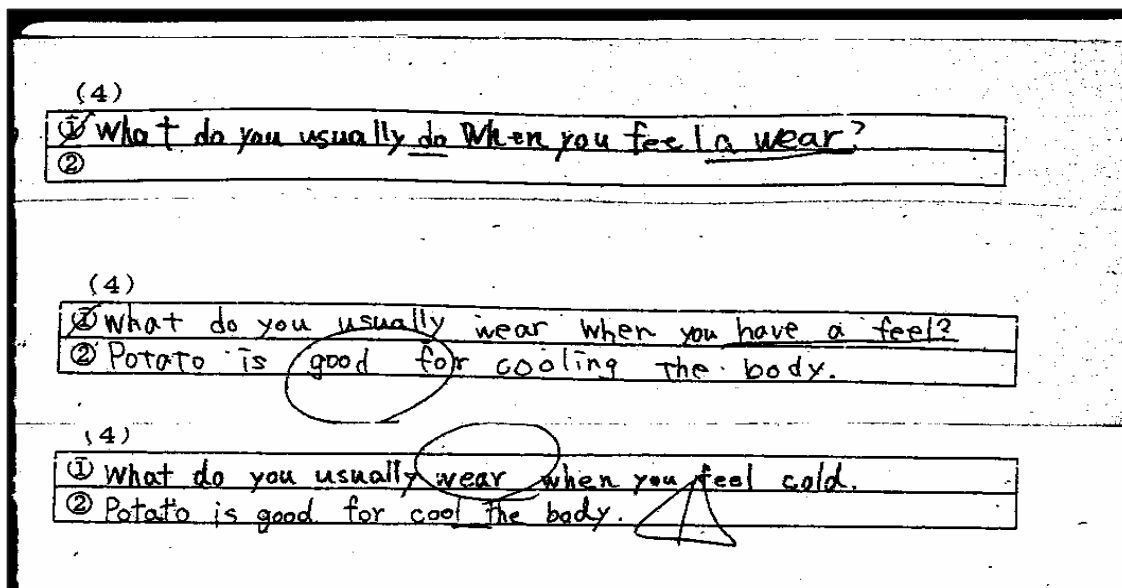


前ページに示した期末考査の設問(1)は、教科書本文の穴埋め問題であったが、全体の半数以上の生徒が全問正解、86%が8割以上正解することができた。中間テストでの本文の穴埋め問題では、3割程度しか答えられなかった生徒が半数近くいた。そのときと比較すると、テスト範囲が狭まったことや選択肢の数を少なくしたことも影響しているであろうが、繰り返しの音読の効果が表れたと考える。前回同様、テストの準備として、どのくらい音読を行ったかを調査したところ、10回以上と回答した生徒が全体の38%にまで増え、そのうち5人の生徒は、暗記またはほぼ暗記するまで読み込んできていた。このことから、今まで「発音がわからない」という理由で音読をしていなかった生徒たちが、自主学習の際にもきちんと読めるようになったことがわかる。

設問(2)、(3)では本文の意味をきちんと理解しながら読めているかを確認したかったが、(2)では68%の生徒が4問以上正解し、(3)では76%の生徒が2問以上正解していることから、全体の7割近くの

生徒が、理解しながら読めていると考える。

最後に設問(4)では、本文で学習した英文を応用して、類似した別の英文が作成できるかを問題にしたが、約60%の生徒が授業で一度確認しているにもかかわらず、正解できなかった。下の英文は、多くの生徒に見られた誤答例である。音読を促し、文法的に正しい英文を理解させるためには、まだまだ改善が必要と考える。



## 7 成果と課題

今回の研究を通して一番よかったと思うことは、今まで消極的に授業を受けていた生徒たちが音読指導を通して楽しく授業に参加するようになったことである。英語力をさらに高めようと意欲的に学習する生徒も出てきており、音読テストや定期考査後も引き続き個別の音読レッスンを受ける生徒や、英語検定に挑戦しようとしているものもいる。今回の工夫・改善で、一人でも多くの生徒が英語学習に自信を持って取り組んでくれば、全体的としての英語力も高まってくると考える。

生徒は、音読テストを通して英語による自己表現を行ったが、今後は応用力、つまり、自由に自己表現ができるための力をつけていくことが課題である。そのためには、

1. 生徒の語彙力を増やすための指導
2. 文法的な理解を深めるための指導
3. 自主的な英語学習に取り組める力をつけるための指導

を目指して、さらに研究を進めたいと考えている。